

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(アスザック株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			経営トップが積極的に関与し、女性・障がい・外国人の雇用比率を上げる取組を行っている。外国人比率は18%(84名)となり、昇進もしている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			セクハラ・パワハラ・マタハラは重大な人権侵害である旨を社内報にて毎年全員に周知している。相談窓口を本社総務部に設置し、いつでも相談できる旨を社内報で毎年全員に周知している。サブリダー以上全員に研修会を実施した。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			残業管理システムを導入し、長時間労働者のデータが見える化されている。人事チームは確認し警告するシステムとなっている。総務チームは長時間労働者の情報を産業医に報告するとともに長時間労働者と産業医での面談打診を行っている。								8.5 8.8										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			毎月外国人労働者と意見交換会を実施し、適切な処遇や労働環境の整備、生活環境すべての面において整備を行っている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			毎月、安全管理担当者による工場内安全巡回、産業医による工場内巡回を実施。本社担当者による管理者への安全講習会、新入社員や中途採用者への雇入れ時安全講習を実施し、記録を残している。			3					8										
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			毎月、全社員は就業時間内で上司との面談が設定されており、各自の抱えている問題を相談できる機会を設けている。ストレスチェックを実施し、ストレス度が見える様になっている。			3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			女性活躍推進法に積極的に取り組み、登用率目標を策定している。高齢者雇用についても積極的に取り組んでいる。長野県「社員の子育て応援宣言！」に登録されている。「次世代育成支援対策推進法」の認定を受けている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			階級ごとの研修・新人研修・メンタリング研修・OJT研修・数値研修他多くの研修を計画し開催している。				4	5.5			8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			パートタイム労働法や労働契約法等び改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿って社内規定を更新している					5.5			8.5		10.2 10.3								
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			健保連へ2020年より4年連続「健康企業宣言」を行い「銀の認定」を受けている。2021年より3年連続「健康経営優良法人」認定を受けている。市の健康づくり研究会に毎年多くの弊社社員を参加させ、健康教育を行っている。			3					8										
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			ISO14001を取得し、管理項目の中に廃棄物の削減を掲げ取り組んでいる。廃棄物として捨てていたものを再利用できないか研究を進めている。										11.6	12		14.1					
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			2024年4月コンサル会社と提携しSCOPE1・2・3の算出と見える化を進めた。定期的に専門業者の省エネ診断を受けている、その結果を踏まえた省エネルギー計画を策定し推進している。							7.3					13						
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			上記の通りコンサル会社指導の下、算定ツールにて温室効果ガスの排出量を把握している。ならびに削減計画を策定している。							7.2 7.3				12.4	13.3						
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			法令等で規制されている有害化学物質について安衛法、化審法等最新情報を入手し更新があれば、社内環境会議にて使用の有無と使用量削減に向けて取り組む様になっている。			3.9			6.3				11.6	12.4							





上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定